



学校だより

平成28年6月24日
佐渡市立前浜小学校・前浜中学校 NO. 43
〒952-3541 佐渡市水津 858
Tel 0259(29)2313 小：E-mail maehama-es@sado.ed.jp
中：E-mail maehama-js@sado.ed.jp



聞くこと、話すこと

前浜小学校 校長 清水 昭博

早いものでもうすぐ7月、学校ではプール水泳も始まりました。梅雨の晴れ間、元気に水泳授業で頑張る子どもたちの声がプールから聞こえてきます。事故のない、楽しい水泳授業になるよう、職員も日々の点検や子どもたちへの繰り返しの指導等、安全確認の徹底に努めていきます。

さて、話は変わりますが、聞くこと 63%、話すこと 22%、書くこと 11%、その他4%という数字があります。何のことだかわかりになりますでしょうか。

アメリカの研究結果で、円満な社会生活をしていくための能力の重要度だそうです。数字まで出すところが、いかにもアメリカらしいところだと思いますし、聞くこととか、話すこととかが能力だということをはっきりと認識し、個人によって能力の差があると考えると、アメリカらしいとも思います。

能力ということになれば、同じ話を同じ場所で、同じ時間だけ聞いても、受け取る内容は個々によって同じではないということになります。例えば、同じ映画を観てもその映画を通して個人が受け取り、自分自身のものにしていく内容が違うというわけです。考えてみれば、それは当たり前のことで、同じ本を読んだら誰もが同じ考えになってしまうことになり、人はただのロボットでしかなくなります。他人の話聞いても、そこから100のものを得る人もいれば50しか得られない人もいます。人によっては何も得られないし、逆にその人の話から自分の世界をどんどん広げて120にも150にもする人がいるということです。その聞く能力というのが、一番重要で、数字にすると63%ということです。いかに、他人の話じっくり聞くということが大切なことであるかわかります。

しかし、話を聞く、といってもその内容によっては、まちまちなこと確かです。耳を傾けて聞く、聞き耳をたてて聞くというような、聞くに値する話であるかどうかということも起きてきます。聞く気になって聞く場合と、他のことをあれこれ思い考えながら何とはなしに聞いている場合がよくあります。聞いたかった講演会に出かけて、人の話を聞くのと、テレビで同じ話を視聴するのは同じではありません。なぜなら、自分の気持ちが違って来るからです。

6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」でもあります。子どもたち一人一人が相手の話を真剣にしっかり聞いて(63%)、それにきちんと答え、話すことができれば(22%)、それだけで合わせて85%、ほぼ全員で円満な学校生活が送れ、いじめなど無縁な学校となるはず。子どもたちが聞く能力、話す能力をしっかりと身につけ、一人一人が、誰とでも上手にかかわっていける前浜小中学校にしたいものです。



【 マラソン大会 6月11日(土) 】

6月11日に小学校のマラソン大会が行われました。今年は練習を順調に積んだ子どもが多く、自信をもって参加できました。やや蒸し暑い天候の中、全員が自分のペースで最後まで走り抜き、充実した大会になりました。大勢の保護者の皆様、地域の皆様から応援をいただきました。ありがとうございました。



【 大豆の種まき 6月17日(金) 】

小学生全員で大豆の種まきをしました。今年は畝を自分たちで作るところから始めました。子どもたちは鍬を使って丁寧に土を盛り上げ、畝に仕上げました。穴を開けて3粒ずつ丁寧に埋め、たっぷりの水をまいて作業終了。秋に収穫した大豆は、きなこにして餅にまぶしていただきたいと考えています。

給食や食卓にも大豆が原料の食材が多数使われています。栽培や調理を通してもっと関心をもってほしいと思います。



おめでとうございます

第37回交通安全ポスターコンクール

最優秀賞 T・Rさん

優良賞 M・Mさん

【 佐渡市中学校陸上競技大会 5/18（水） 】

第68回佐渡市中学校陸上競技大会が、絶好の天気のもと佐渡市陸上競技場で開催され、全校生徒が選手として参加しました。生徒は4月から特設の部活動として取り組み、合同練習会、各種マラソン大会に参加して力を高めてきました。残念ながら各種目に入賞するまでは至りませんでした。自己の目標タイムやベストタイムを更新することができました。



この後、新潟地区陸上大会（6月23日・24日）に参加して県大会を目指す生徒もいます。9月には佐渡地区駅伝大会（9月23日）も予定されています。これからも全校で取り組んでもらいたいと思います。

【 団体戦3連覇 男女個人戦優勝 6/7（火）・8（水） 】

佐渡市中学校体育大会バドミントン大会が、金井中学校を会場に行われ、当校は、男子団体戦、男子シングルス戦、男子ダブルス戦、女子ダブルス戦に出場しました。

男子団体戦は、高千中、金井中、佐渡中等教育学校との

○男子団体戦	☆優勝	U. T、U. Y、E. E K. H、K. T、M. T M. Y、K. T
○男子シングルス	☆準優勝	U. Y
○男子ダブルス	☆優勝	U. T・K. T 組
	☆準優勝	K. H・M. Y 組
○女子ダブルス	☆優勝	K. S・Y. S 組

リーグ戦を行った結果、危なげなく3連覇を達成しました。男子ダブルス戦には3組が出場し、3組とも予選リーグを突破し決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメント1回戦で1年生ペアは敗れてしまいましたが、3年生ペアの2組は決勝戦まで勝ち上がり、優勝と準優勝を獲得しました。男子シングル戦には3名が参加し、その内1名は決勝まで勝ち上がりました。

女子ダブルス戦には3年生1組が第1シードで参加しました。順当に決勝まで勝ち上がったペアは、決勝戦でも相手を圧倒して優勝しました。



今月末には新潟地区大会、7月下旬には県大会、8月には北信越大会、さらに全国大会へと続きます。これからも心と技を磨き、自分たちの目標を達成してもらいたいと思います。

【 募金へのご協力ありがとうございました 】

JRC委員会が、全校児童生徒、職員に呼びかけて5月25日～27日に「緑の募金」を、6月15日～17日に「熊本地震義援金募金」を行いました。緑の募金は、3,065円を市役所に届けました。熊本地震義援金は、8,000円でしたが、PTAより1万円のご寄付をいただきましたので、赤十字へ届けたいと思います。児童生徒、そして保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



【 ふれあい体験学習 5/27（金） 】



「ふれあい体験学習」は、学校行事の中でも児童生徒が最も楽しみにしている活動の一つで、今年で24回目となる小中連携の行事です。

まず講演会では、前浜中学校を卒業して地元で漁師を行っている本間さんが、自分が漁師を目指した話、真鯛釣りの様子、漁に出てよく見かけるイルカについて、実際の道具や映像を交えて説明してくれました。子どもたちも職員も、陸地から直ぐ近くにイルカが群れで泳ぐ映像を見てビックリしました。

次に体験です。今年は、イカやカワハギを捌く実習に加え、高学年の児童と中学生はアジやワラサの三枚おろしにも挑戦しました。地域の方々から三枚おろしのコツを丁寧に教えていただき、すぐに上手におろすことができるようになりました。さらに漁船に乗船して水津漁港沖を遊覧する体験や自分たちが捌いたイカとサザエを炭火で焼いて食べる体験もさせていただきました。

最後は、水津漁協や佐渡で捕れた食材を調理した昼食会です。中学生が盛りつけを担当し、体験学習でお世話になっている水津漁家女性部の方々と一緒に昼食を食べました。半日間の体験学習でしたが、とても貴重な体験をさせていただきました。



【 プール清掃 6/2（木） 】

プール指導の始まる時期に合わせて全校でプール清掃を行いました。児童生徒を縦割6班に編制して、中学生は各班のリーダーとして下級生に作業の指示を出します。低学年の児童も自分の仕事をきちんと行って担当した場所をきれいにしていきます。その後も水を運ぶ人、水を撒く人、壁や底を磨く人、落ち葉やヘドロを集める人など、チームワークもよく約2時間の作業で汚かったプールをピカピカにすることができました。



【 親子レクリエーション大会 6/11（土） 】



授業参観日にあわせて、PTAが主催して小学生は親子ドッジビー、中学生は親子ソフトバレーボールを実施しています。

ドッジビーは、小学校1年生から6年生を3チームに分け、それに保護者が参加して行う試合と、地域ごとに子どもと保護者がチームをつくって試合を行いました。飛んできたディスクを上手く避けたり取ったりして、保護者も汗だくになって参加していました。

ソフトバレーボールは、中学生と保護者で4チームに分かれて総当たりで試合を行いました。どの試合も3年生と保護者の活躍があり、接戦でとても盛り上がったレクリエーションとなりました。